

K-510

支 払 済

数理解析研究所講究録 230

代 数 的 整 数 論



京都大学数理解析研究所

1975年3月

代数的整数論・研究会報告集

1974年12月9日～12日

目 次

1. 与えられた P 群を Galois 群にもつ体の構成に 関する Safarevic の方法について 1	早大 理工 足立 恒雄 東工大 理 小松 啓一
2. 代数体の絶対ガロア群について 13	東工大 理 小松 啓一
3. 代数体の判別式と分歧定数 26	早大 理工 小松 建三
4. 實 2 次体の基本準数について 30	中京大 教 久綱 正和
5. $\mathbb{Q}(\sqrt[m]{m})$ の類群の 3-rank を計算するアルゴリズム 41	都立大 理 小林 新樹
6. C/G が compact 複素多様体となる affine 変換群 G について 47	東北大 理 内田 載二
7. 局所数体の整数環の正規底について 59	九大 理 円藤 章

8. On unramified abelian extensions of local
fields with arbitrary residue field of
characteristic $p \neq 0$ and its application to
wildly ramified \mathbb{Z}_p -extensions. 70

東大 理 三木 博雄

9. The traces of Hecke operators in the space
of the 'Hilbert modular' type cusp forms
of weight two. 79

東大 理 石川 洋文

10. 岩沢 inv. 入の零化について 95
奈良女大 理 赤川 守正

11. 志村の椭円曲線のある等分点が生成する代数体 101
京大 教 山内 正敏

12. ラマスジャンのエ-関数の類似 107
津田塾大 理 片山 孝次